



2014年9月10日 セントラル野球連盟 パシフィック野球連盟 スカパーJSAT株式会社

8月度「スカパー! サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する**月間「スカパー!サヨナラ賞**」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の8月度受賞選手が決定いたしました。 受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30万円が贈られます。

セントラル・リーグ 受賞選手 ~木セ・ロペス(読売ジャイアンツ)初受賞

ロペス選手は、8月26日(火)東京ドームで行われた対阪神タイガース19回戦、2対3で迎えた9回裏、村田選手の犠飛で同点後、なお二死二塁の場面で、センター前へサヨナラ安打を放ちました。この日は2位阪神と1.5 ゲーム差で迎えた首位攻防戦。負ければ0.5 差となる試合の終盤で、抜群の勝負強さを発揮しました。ロペス選手は、22日の対中日戦の延長12回でもサヨナラ犠飛を放ちました。来日2年目で初受賞。巨人からの受賞は、2013年8月度の長野選手以来となります。

ペ パシフィック・リーグ 受賞選手 ~田村 龍弘(千葉ロッテマリーンズ)初受賞

田村選手は、8月19日(火)QVCマリンフィールドで行われた対オリックス・バファローズ15回戦、3対3で迎えた9回裏、二死二塁の場面で、センター前へサヨナラ安打を放ちました。

それまで3打数無安打だった田村選手は、この打席でも1ボール2ストライクと追い込まれたものの、4球目を見事にはじき返し、プロ2年目で初のサヨナラ打を記録しました。

千葉ロッテからの受賞は、本年6月度の加藤翔平選手以来、2人目となります。

月間「スカパー!サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー! は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー!」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打を放った選手に贈られる賞として「スカパー!ドラマティック・サヨナラ賞年間大賞」を制定しています。





(参考)過去の受賞選手

【月間「スカパー! サヨナラ賞」】

2012年度			
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ	
3•4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)	
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)	
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)	
7月度	石原 慶幸 (広島)	枡田 慎太郎 (楽天)	
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)	
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)	

2013年度			
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ	
3•4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)	
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)	
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)	
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)	
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)	
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)	

2014年度				
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ		
3•4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)		
5月度	梵 英心 (広島)	加藤翔平(ロッテ)		
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)		
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)		

【スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行(巨人)	井口 資仁(ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)